



みんな輝く！ 学校輝く！ ふるさと輝く！

「輝く！」 第14号



令和7年3月24日（月）発行

（りんどうヶ丘小ホームページQRコードです。給食やブログ等をご覧ください。）

進級おめでとう！

- き** “きよらの郷”南小国町の未来の創り手をめざしてのフシゼン大会にあっばれ！
- よ** よく考え、よく読み、よく働き、多くの「りんペイ活動」に励みました！
- う** ライバルは自分自身の弱い心 粘り強くがんばったなわとび大会！
- つ** 続けることは大きな力になる！「Iラブ家族デー」が文部科学大臣表彰！
- こ** これで令和7年度の第0ステージ終了！やい残した準備は春休みのうちにやろう！

これは、修了式で、子供たちに話した、第4ステージの学校生活を振り返った「あいうえお作文」です。「きよらっこ」でまとめさせていただきました。

「夢」いっぱい「自信」いっぱいという学校教育目標のとおり、一人一人が自分のよさを発見し、夢を抱き自信を身に付けてくれたことと思います。

先日開催し大好評だった、「りん小 夢の祭典 2025」の第1ラウンドでは、松丸伸一様に「未来を担う君たちへ！～誇りってなんだろう～」というタイトルでお話をいただきました。とてもわかりやすく子供たちも聞き入っていました。その中で、子供たちの心の中に強く残っているのは、

「好きなことを続けることが大事！」

「好きなことは変わってもいいが、続けることで世界が広がり夢も広がる！」

「これから先、君たちの進路は様々だけど、苦しいときの力になるのは、ふるさとの思い出となかまで！」

「いつまでも南小国を好きであり続けてほしい！」

ちなみに、卒業式の式辞で話したことでありますが、メジャーリーガー・ドジャースの大谷翔平選手の58歳の夢は、「生まれ故郷の岩手県に帰ること」だそうです。なんと素晴らしいことでしょう。

りん小っ子も、大谷翔平選手と同じように様々な体験活動をとおして確実にふるさとを愛する心が育っていると確信しています。

この大谷選手のように、すべての子供たちが、4月から一歩先のステージでさらなる活躍をしてくれることを期待しています。

そのためにも、しっかりと心と体の準備をして、新学期を迎えましょう。

また、松丸様はこのような話もしてくださいました。

これまで、お父さん・お母さんや学校の先生から厳しく怒られることもあったと思います。そんな時、「大嫌い！」という感情を抱いたこともあるでしょう。しかし、困ったときに一番の味方になってくれるのは親であり先生です。怒るには理由があります。大人は子供の何倍も人生を経験しているから言うのです。納得がいけないなら反抗してください。迷惑もかけてください。親も先生も子供たちの最大の応援団です。

感想交流では、ある子供が、「お母さんから怒られることが多いので、お母さんは私のことを嫌いなのかなあと思っていたけどそうじゃにことがわかって良かったです。」と発言する場面もあり、とてもいい時間を共有することができました。

祝 入賞おめでとう！

「家庭の日」あったか家族コンクール

※ 冬休みの「Iラブ家族デー」の取組を兼ねて、すべての家庭にご協力いただき応募することができました。ありがとうございました。県による審査の結果、武田りおさん親子が入賞されました。おめでとうございます。

＜「絵日記」小学校高学年部門＞

奨励賞 6年 武田 りお
家族 武田 育子

第8回草原ぬりえコンクール

佳作 4年 蔡 かち

＜めざす家庭・地域像＞

笑顔と元気がいっぱいの家庭・地域！ 安心して生活できる家庭・地域！ 子どもの夢実現を支える家庭・地域！